

栃木県が開発した品種や技術

とちぎの農業関係試験研究機関

■ 農業関係の4試験研究機関が、「栃木県農業試験研究推進計画」に基づき、効果的・効率的・戦術的に試験研究に取り組んでいます。

【農業試験研究の基本目標】

- 1 栃木のブランド力を強化する農産物の開発
- 2 先端技術等の活用による次世代型生産技術の開発
- 3 農産物の高付加価値化をリードする技術の開発
- 4 気候変動に強く環境に配慮した生産技術の開発
- 5 地域の活力と魅力を支える技術の開発

◆畜産酪農研究センター

乳用牛、肉用牛及び豚の生産技術や畜産環境保全技術の研究開発を行っています。

◆県央家畜保健衛生所（家畜衛生研究部）

家畜疾病の診断・予防技術の研究開発を行っています。

◆農業試験場

○本場

農作物の生産技術の研究開発や、新品種を開発を行っています。

○いちご研究所

全国唯一のいちご専門の研究機関。いちごの新品種開発や高品質超多収技術に関する研究開発を行っています。

◆水産試験場

本県特産魚の生産技術の研究開発や、水域生態系の調査・研究を行っています。

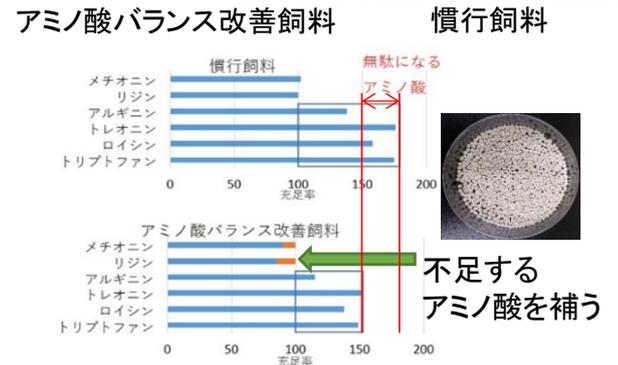
新技術の開発

■ 研究成果事例「アミノ酸バランス改善飼料による牛排せつ物由来の温室効果ガス削減」

日本における農林水産分野由来の温室効果ガスのうち、家畜排せつ物を堆肥化した際に排出される一酸化二窒素（ N_2O ）が8%を占めており、削減が求められています。

本県の農業産出額のうち約5割を占める畜産において、環境負荷軽減と収益性の確保を図っていくため、畜産酪農研究センターにおいて、牛排せつ物由来の N_2O の削減技術を開発しました。

具体的には、ホルスタイン種去勢牛を肥育する際に給与する飼料中の粗タンパク質含量を1~3%下げ、不足するアミノ酸を添加し、アミノ酸バランスを調整することで、慣行飼料に比べて N_2O の排出量を約半減することができました。また、慣行飼料と同等の発育成績や枝肉重量・品質を確保することができました。



オリジナル品種の開発

■ 県試験研究機関では、消費者ニーズや農業者からの期待に応えるため、いちごや水稻をはじめ、なしや花きなどのオリジナル品種を、優れた育種技術により次々と開発しています。

水稻「夢さら」



- 品種登録 令和4年2月
- 主な特徴
 - ・心白がはっきりしていて日本酒造りに適する。
 - ・玄米を削る際にも砕けにくい。ため、大吟醸酒の製造に向く。
 - ・稲が倒れにくく、病気に強い。

大麦「もち絹香」



- 品種登録 令和4年2月
- 主な特徴
 - ・弾力のある食感
 - ・麦飯特有の不快感の発生しにくい。
 - ・炊飯後も褐変しにくい。(写真は炊飯24時間後)

いちご「とちあいか」



- 出願公表 平成30年11月
- 主な特徴
 - ・酸味が少なく際立つ甘さ。
 - ・収穫始めが10月下旬と早く、収穫量が多い。
 - ・切り口はへた部分がくぼむハート型である。
- 生産状況 令和5年産 125.1ha

いちご「ミルキーベリー(栃木iW1号)」



- 出願公表 平成30年4月
- 主な特徴
 - ・果実が白い。
 - ・まろやかな食感のいちご。
 - ・果実は大きいものが多く、収量性に優れる。
- 生産状況 令和5年産 2ha

にら「ゆめみどり」



- 品種登録 平成29年2月
- 主な特徴
 - ・生育が旺盛で多収。
 - ・収穫を重ねても葉幅の低下が少なく、品質が安定している。
- 生産状況 令和4年度: 39.8ha

大麦「ニューサチホゴールド」



- 品種登録 平成30年2月
- 主な特徴
 - ・ビールの品質を低下させる酵素の一種(Lox-1)を含まない。
 - ・その他の特性はサチホゴールド同様で、栽培性に優れる。
- 生産状況 令和5年産: 7,817ha

全雌三倍体サクラマス「銀桜サーモン」



- 商標登録 令和4年3月
- 主な特徴
 - ・大型(全長約50cm)に成長する。
 - ・銀色に輝き、姿、色が美しい。
 - ・引きが強く、釣り味が良い。
- 取扱い管理釣り場 令和5年5月時点: 8箇所

あじさい「エンジェルリング」



- 出願公表 令和元年11月
- 主な特徴
 - ・八重のコンパクトなガクあじさいで、花色は赤紫に白い覆輪が入る。

あじさい「プリンセスリング」



- 出願公表 令和元年11月
- 主な特徴
 - ・八重のガクあじさい。花色は赤紫で白い覆輪が多く入る。エンジェルリングより装飾花が大きい。

現在登録されている栃木県育成の品種数 (令和5年5月末日時点)

※出願公表品種を含む

品目	水稻	麦	いちご	なし	かぼちゃ	うど	あじさい	りんどう	にら	その他	計
品種数	4(5)	7(12)	5(10)	2(3)	1	2	4	2	1(3)	2(16)	30(58)

※ () 内はこれまで登録した品種数